

青江推進部会長が資料 1-1-1～3(各プロジェクトの評価結果)を 19 分程掛けてかなり詳細に説明した後、7 分弱の議論があった。

松尾委員長:宜しゅう御座いますか、此れ大体皆さんあの、...

池上:あの、3 件で、一寸頭ん中若干混乱してるんですけど、今回、議論はですネ、非常に、何て言うんですかあの、本質的な処から此の議論が行われたんじゃないかと云う風に、私思っております。で、ASTRO-H についてはですネ、此れは科学技術に関連すると云う事で、色々議論があったんですが、結果的には宜しいんじゃないかと云う事で、割合素直に認められたと云う感じです。で、其れに対しまして其の後の二つについてはですネ、此れはあの、**科学技術に間接的には関係するんですが、どちらかと云うとそうではなく¹**て、まあ、我々の生活に直接関係、かなり接点がある様な部分についてまあ議

¹ 宇宙の活動に於いて、科学技術の振興が最も大切な要素の一つと考えている様である。其れは池上委員のキャリアが NTT の研究所で始まっている事と関係するのも知れない。確かに科学技術力は国家として具備すべき重要な要素の一つであり、科学技術力の乏しい国を古くは後進国、近頃は発展途上国と呼び、其れ等の呼び方には、「発展とは科学技術力の振興である。」と云う思いが感じられる。ただ、其の様な科学技術は軍事力に繋がっている事で善しとする国々が殆どであり、日本だけが其れを切り離して考えている事を意識しておかなければならない。宇宙に関する事業が、少なくとも抑止力に繋がる事が肝要であると思う。

論をするって云う事になっておりまして、で、ま、特に今回議論で非常に印象的だったのは、此れ多分『仕分け』での色々議論が頭ん中であって云う事があると思うんですけど、「どう使うんだ。」と云う話が今回相当された様な感じがする。で、どう使うかと云う事について、或る意味ではですネ、あの、**国が非常に素晴らしい分解能等々を持った地球観測装置を打上げると、で、其れを誰がどう使うかと云う処まで、此れ返は必ずしも十分な約束みたいなものがあって、やってるって云う事でなかったんですけど、今あの、基本計画の中で利用についてシフト、利用の方にもっと重心を移せと云って²**る中でですネ、ホントにそう云う国が準備した非常に素晴らしい観測装置を、どう使うかって云う処までも、我々やっぱり考えて行かなきゃいけないんじゃないかって云う風な議論もあったし、あの、私自身も「そうだな。」って感じを非常に強く受けました。で、そう云う点で言いますと、GCOMのCについてはですネ、此れはあの、ユーザ側の方が既に色々提案して貰って居ましてですネ、色んなもん、ユーザが「斯うして使いたいヨ。」と云う、...其のユーザって云うの、各省庁って云うレベルじゃなくて、もっと其の研究言場の連中が「斯う使いたい。」って云う提案をして居りましてですネ、或る意味じゃ、その、あの、

² 1980 年代から RESTEC と ERSDAC が積重ねて来た努力について、何処までご存じなのか？ 繰り返し此の指摘を行って、少々くど過ぎる事は分かっているが、見過す事が出来ない。

JAXA が提供するツールと、それからユーザ側って云うのは、上手い形が出来る可能性があるって云う風な事ですネ、で、寧ろ其処で問題んなったのは、じゃあ其れ、全体見てですネ、ツール提供側とユーザ側を全体見て、上手く調整する様な処が一体何処ですかって云う議論があったんですが、まあ、今の処はですネ、まあ頑張ってくださいよって云う風な範囲で一応終り³と。で、ALOS-2 の方はですネ、必ずしもそうではなくて、でこれ、非常に、あの、L バンドを使って森林の中まで覗く事が出来るって云う風な事で、非常にあの、使い度があると思うんですが、未だその、ユーザサイドの方が積極的に手を上げてと云う風になっていなくてですネ、此れについて言いますと先ずは非常に魅力ある観測能力を持ったツールを国の方で準備致しましたと。で、今後、「此れを上手く使って下さいネ。」と云う様様なフェーズにあるかなって云う事で、相当議論が御座いました。ですから ALOS-2 の方にはですネ、助言と云う形で、夫々の項目についてですネ、意見が書いて御座いますけれど、寧ろ此の助言が非常に、内容的には重要でありまして。で、私自身としてはですネ、あの、L バンドを上手く使う応用の分野って云うの広がるって云う風に思っ

³ 此れに限った事ではないが、推進部会の中で多くの委員から指摘があったものではなく、池上委員が発言した事を本委員会の此の場で繰り返している様に思える。正確に議事録を見直していないので、無責任な発言になるが、読者諸兄にお許し願いたい。

【議事(1)】 宇宙開発に関する重要な研究開発の評価について

はいるんですが、未だ其の辺が十分ではないナと言う感じは残りました。で、そうは言ってもやっぱりタイミング良く上げてかなきゃいけないってのは事実でありましてですネ、で、此れについても全体として、開発の方に向かって良いんではないかと云う様な議論が行われて居りました。

青江:あの一、固有名詞は忘れちゃったんですけれども、あの、基本計画の需要についての全体統括の斯う、何て言うか、委員会って云うか何か作ると云う風に、基本計画に書いてありますネエ。

松尾参事官:利用推進連絡会議。

青江:アア、そう。其処が今池上さんが言われた事を対応する処じゃないんですか。日本全体から見て。

松尾参事官:そうだと思います。

青江:ですヨネ。それから、其処で以て、ユーザとの間の全体を斯う、全体を斯う整理を、所謂道具側とネ、ツール側と利用者側ですネ、其処で以て整理が為されると云う事なんですよ。

松尾参事官:はい。

青江:だから、其処が機能して貰えればいいと。但し我が方側は、所謂道具の提供と云う事に於いてですネ、方向を良く踏まえて、其処に出来る限り、斯う、良い形で道具が出来る様に、其処の処は十分に、エエト、JAXA の実施機関側はですネ、そう云う方向に行っとるかと云う事を良くウォッチをすと言いましょかね、だけど其れを統括するのは、その、本部の下の其処だと云う事であるんでしょう？

池上: エエトですネ、此れはあの、此の会議、あの、小委員会、じゃないや、部会でも議論をしたと思うんですけどネ、僕はネ、**体的にはそうなるって事は認めるんですヨ。ただ問題は実行って云う事を考えてった場合に、其れが出来るかどうかって云う点について言いますとネ、まあ、かなり疑問です⁴ネと、斯う云う事です。**

誰か: ハァー。

池上: ですから、従来の、法的な裏付けが有る様な枠組みの中で説明をすると、今の様な説明で一応 なんですけどネ、ただ、実行上、利用グループ、色んな大学等々がある訳なんです、其の実行グループと、それからツールを提供する側が、上手くやってくれますネって云う事、やっぱり、一つ上のレベルで以て、今仰った様な委員会がですネ、ホントに、あの、要するにプライオリティ付ですヨネ、基本的には、其れが出来るかどうかって言うと、現状ではネ、其れは多分出来てないんじゃないかって言う風に思うんですヨネ。多分此れはもう、何れに

⁴ 此れは無責任な発言である。「利用推進連絡会議に実行力が無いから、宇宙開発委員会に任せろ！」と言いたいのか。当該会議に実行力を付けて貰いたいのなら、文科省からの出向者が当該会議の事務局に居るだろうから、実行力を付ける様な助言を行えば良いのではないか。「問題だ！」と声を上げる人が多くなると、其れだけで実行力が低下してしまうことにも配慮しなければならない。進展の緩い事業は、無責任な風評に弱いのである。振興を願っているのか衰退を願っているのか分からない発言である。

【議事(1)】 宇宙開発に関する重要な研究開発の評価について

しろネ、今後の課題って言う風に思って居ります。で、多分そう云う事が色々不満が有るんで、宇宙開発体制についても、新しいものへもってったら良いんじゃないのって言う様な話で、今、色々あの、戦略本部の方で検討してるんじゃないかって云う風に、私なんかそう理解してますけどネ。でも、何れにしても仰る通り、我々として見ると JAXA について責任がある訳ですから、JAXA に対して適切な指示を出して行くってのは重要であると思ってます。

松尾委員長: はい、此れは了承事項ですな。了承を取ります。宜しゅう御座いますネ。

青江他: はい。

松尾委員長: はい、其れでは二つ目の議題...以下省略。